

内住の主

私はイスラエルの人々のうちに住み、彼らの神となる。(45)

出エジプト記二九章 35〜46節

主がイスラエルの民に建設を命じられた幕屋は、会見の幕屋とも呼ばれるように、神と民とが公式に会う所であり、礼拝する場所です。同時に、主なる神が彼らのただ中に住んでおられることを証しするものでした。神の民とは、主なる神を自分たちの内に住まわせる民です。そのことが民にとっての最高の祝福でした。やがて神は、御子イエスによって私たちのただ中に住むためにこの世に来てくださいました。「言は肉体となって、私たちの間に宿った」(ヨハネ一14)。「宿った」とは、「幕屋住まいをした」という意味です。かつて荒野を旅するイスラエルの民の真ん中に主が住まわれたように、人生という荒野を旅する私たちの内に神が宿ってくださいましたのです。今日も主は私たちの内に住んでおられます。心の王座を明け渡して、主イエスを中心にお迎えしようではありませんか。